

稲作緊急情報（第2号）

平成17年7月5日
J A きたそらち・北いぶき
空知北部地区農業改良普及センター

1. 再び低温が予想されます。水深を維持し水温の確保に努めて下さい！！

7月4日札幌管区气象台より、低温に関する予報が発表されました。

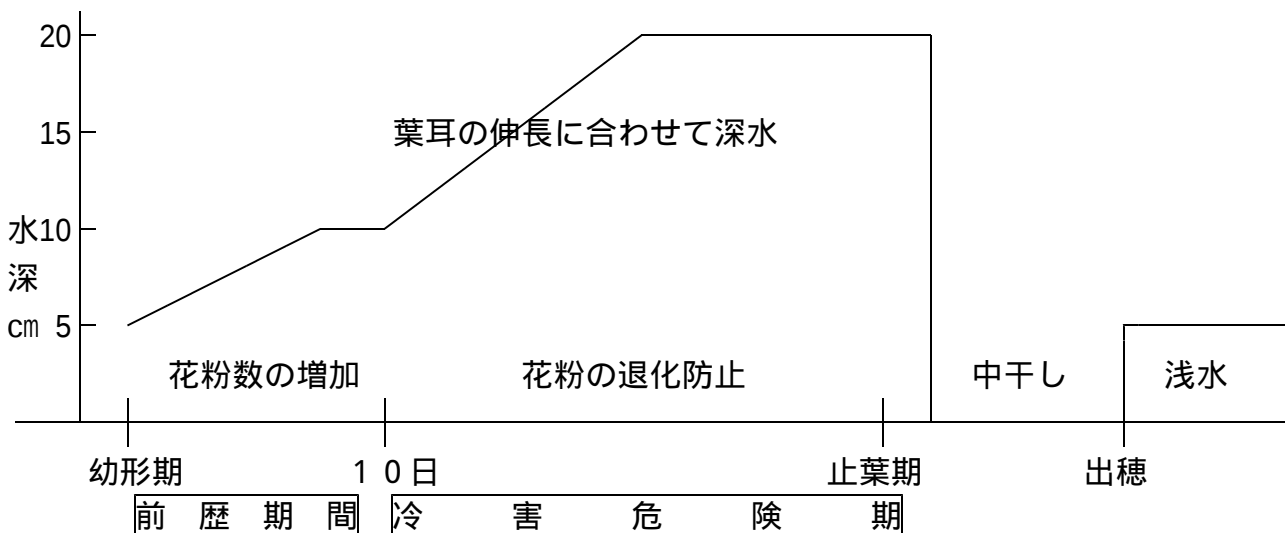
6日から7日は北海道の南を低気圧が通過し、その後9日まではオホーツク海高気圧が張り出すため、北海道は北から冷たい空気が流れ込んで気温が低く経過する見込みです。

現在、多くの水田は前歴期間（幼穂形成期～10日目）から冷害危険期になっていると思われます。

この時期は花粉母細胞分化期にあたり、低温に遭遇すると花粉の基が抑制され花粉数が減少し、不稔の発生や未熟粒の増加の要因となります。

水深の状態に気を配り、低温に備えた管理を心がけましょう。

2. 水管理の目安



水温確保のために、日中止水が鉄則です！